

【0093】

MRE複合リガンドの分子量分布を以下に示すと表2のようになる。

【0094】

【表2】

MRE複合リガンドの分子量分布	
分子量範囲	ピーク面積(%)
10,000以上	微量
3,000~10,000	微量
1,000~3,000	1.5%
500~1,000	1%
500以下	97.5%
合計	100%

【0095】

このように本発明のMRE複合リガンドは、その98%以上がオリゴペプチド、オリゴ糖鎖、オリゴレベルの核酸の他、オリゴ領域の糖ペプチドや糖脂質を含む1000以下の親水性の低分子物質で構成されている。このようにして得られた低分子複合リガンドは、エンドトキシンのような毒性を持たず、また、低分子であるので抗体による直接の攻撃を受けない。

【0097】

このように低分子化することで、毒性の極めて少ないリガンドが得られるというメリットのほかに、腸管からの吸収や粘膜からの吸収できるので、飲料として高効率に摂取できるという大切なメリットもある。親水性でかつ分子量がオリゴ領域なので理論的には皮膚からの吸収も可能である。